検量線の作成

70,000ペプチドグリカン分解力単位に相当するムラミダーゼを量り、適量の希釈液を加え、45～90分間よくかき混ぜて溶かし、100mLの全量フラスコに入れ、さらに希釈液を標線まで加えて100mLとする。この液50μLを100mLの全量フラスコに入れ、希釈液を標線まで加えて100mLとし、標準原液とする。この液を下表に従い、希釈液にて希釈し、標準液Ａ～Ｇとする。

標準液	希釈倍率	標準原液量（μL）	希釈液量（μL）	ペプチドグリカン分解力単位／mL
A	40倍	30	1,170	0.0088
B	30倍	40	1,160	0.012
C	24倍	50	1,150	0.015
D	20倍	60	1,140	0.018
E	15倍	80	1,120	0.023
F	12倍	100	1,100	0.029
G	10倍	120	1,080	0.035

標準液Ａ～Ｇの０～30分の測定値から１分間当たりのそれぞれの蛍光強度増加量(傾き)を算出する。算出した傾きを縦軸に、各標準液の１mL中のペプチドグリカン分解力単位を横軸にとり、検量線を作成する。

⑿　(略)

⒂～㊳　(略)

7　飼料添加物一般の試験法並びに各飼料添加物の成分規格及び製造方法等の基準に用いる標準品、試薬・試液、容量分析用標準液、標準液、色の比較液、計量器・用器、ろ紙、滅菌法及びベルトラン糖類定量表の規定

⑴　(略)

⑵　試薬・試液

(略)

亜鉛（標準試薬）～オクタン酸　(略)

オクチルフェノールエトキシレート　$C_{14}H_{22}O(C_2H_4O)_n$

オクチルフェノールエトキシレート試液　オクチルフェノールエトキシレート25ｇ（24.5～25.4ｇ）に水を加えて溶かし250mLとする。

オリブ油～炭酸水素ナトリウム　(略)

炭酸水素ナトリウム緩衝液（pH9.3）　炭酸水素ナトリウム21.0ｇ（20.95～21.04ｇ）に水を加えて溶かし、１mol／L塩酸試液でpH9.3に調整した後、更に水を加えて500mLとする。

炭酸水素ナトリウム・水酸化ナトリウム緩衝液（pH9.0）～フルオレセイン　(略)

フルオレセインイソチオシアナート（アイソマーⅠ）$C_{21}H_{11}NO_5S$　黄橙色の粉末である。

フルオレセイン・エタノール試液　(略)

⑾　(略)

⒂～㊳　(略)

7　飼料添加物一般の試験法並びに各飼料添加物の成分規格及び製造方法等の基準に用いる標準品、試薬・試液、容量分析用標準液、標準液、色の比較液、計量器・用器、ろ紙、滅菌法及びベルトラン糖類定量表の規定

⑴　(略)

⑵　試薬・試液

(略)

亜鉛（標準試薬）～オクタン酸　(略)

（新設）

（新設）

オリブ油～炭酸水素ナトリウム　(略)

（新設）

炭酸水素ナトリウム・水酸化ナトリウム緩衝液（pH9.0）～フルオレセイン　(略)

（新設）

フルオレセイン・エタノール試液　(略)